環保協

環境と健康のポスター・標語コンクール事業
22公衛協が活動をPR

コンクール事業に参加した公衛協は、毎年応募作品を活用したさまざまな活動を行っています。2月中旬までに届いた活動報告について紹介します。

【表彰式・展示会】

学校を訪問して表彰式を行った海田町、坂町、大崎上島町のほか、府中町は環境まつり、廿日市市は環境フェスタ、三次市は健康福祉まつり、庄原市はリサイクルフェスタ、福山市は公衆衛生大会で表彰式を行いました。今年度は、10周年記念展示と併せて開催する公衛協も多くありました。

【広報・啓発グッズ】

行政の広報紙や公衛協だより、HPへの掲載を行ったのは、廿日市市宮島、福山市、庄原市などでした。江田島市、尾道市などは、ラミネート加工やパネル化し、ごみステーションに掲示しました。

推進委員の指導のもと作品パネル作り(庄原市)

全校児童の前で表彰式(坂町)

また、多くの公衛協が、作品を載せたクリアフォルダ、公衛協とコンクール名が入った蛍光ペン、鉛筆などを作成し、参加賞やイベント啓発グッズとして活用しています。

【手作りパネル】

庄原市公衛協は、印刷業者に依頼して受賞作品をパネル化するだけでなく、児童と一緒に自分の作品を使った手作りパネルを作成し、ごみステーションに設置しています。今年は美古登小学校4年生と作りました。使った材料は、選挙後不要になった掲示板の廃材であることを伝え、リサイクル活動への参加を実感してもらいました。

表彰や展示の様子、喜ばれたグッズ、学校や地域への協力依頼の方法、わが公衛協の成功談・失敗談など、参考になる事例、情報がありましたら、地域活動支援センターまでご一報ください。

また、当協会は、コンクール事業を活性化するため、作品募集や選考会、展示会の開催、公衛協PRや啓発にかかる経費全般の助成を行っています。ぜひご活用ください。

(地域活動支援センター)

専門研修『企画づくりコース』開催
オモイをカタチにするプロセス学ぶ

1月18日～19日、グリーンピアせとうち(呉市)で専門研修「企画づくりコース」を開催しました。

「企画づくりコース」は、まちづくりや組織づくりに対する思いや願いを具現化するため、事業メニューの考え方や技法の基礎を学び、企画力を養うことをねらいに実施しています。プログラムは、地域の課題を整理→企画書を書く→発表する→講師の助言を受ける→企画書を修正する→発表するという作業と発表を繰り返して、オモイをカタチ(企画)にしていきます。

今回は、公衛協から4団体、TEAMから3団体合計11名が参加しました。

中堅の推進委員の育成不足による事業継続性を課題にあげた公衛協では、ベテランと新人を2人1組で市町や当協会などが実施する研修会に送り込み、活動に必要なスキルを学ぶと共にコミュニケーションを図ることで、中堅推進委員を育成する取り組みを企画しました。

野良ネコのふん尿による臭いやダニによる健康被害防止を課題にあげた公衛協では、飼い主と地域住民が一緒にネコの行動と性格、飼い方の知識などを学ぶ学習会を開催し、地域ネコ運動を推進し、野良ネコのいない安全安心な地域づくりを企画しました。

イベントの集客UPや環境と食のつながりの認識が希薄なことを課題にあげたTEAMでは、食を通じたCOOL CHOICE推進事業と題して、料理教室や食べられる緑のカーテンを取り入れることで、食と環境を楽しく学べるアイディアを盛り込んだ3回シリーズ講座を企画しました。

この他にも、ユニークな視点の企画、遊びごころのある企画、毒気のある企画などが作られ、発表されました。

参加者が地元に帰り、それぞれの組織メンバーと企画のブラシュアップを行い、企画を実践することで、地域の環境や健康に関する課題解決につながることを期待します。

(地域活動支援センター)

企画に込めたオモイを発表

COOL CHOICE

私のクールチョイス⑩

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

【買い換え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

公衛協、TEAMで活躍されているみなさんと、環保協の役職員が日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介します。

【買い替え・ライフスタイル】(LED照明の導入・窓の断熱)

最近はLED照明の種類も充実してきたことから、家中の蛍光灯や白熱球をLED照明へ交換中です。まだ、電気代への反映が実感できるほどではありませんが、どれくらいの効果があるか楽しみです。

神石高原町は標高が高く、夏場は湿度が低いため、風通しを良くすればクーラー無しでも過ごせます。一方、冬場の寒さは厳しいので断熱、特に窓の断熱には気を遣います。リビングなど人が集まる部屋の窓には断熱シートを貼り、カーテンは厚手のものにして、熱を逃がさないように工夫しています。

(門田　耕治さん／神石高原町公衆衛生推進協議会副会長)

【ライフスタイル】(省エネ・再利用の普及啓発)

私が活動する時には、実験や体験を大事にしています。

緑のカーテン運動では、ゴーヤの種1万粒を購入して実際に育ててもらい、壁面温度を熱画像イメージ放射温度計で確認します。小学校のエコクラブで、児童の提案を取り入れながら、リサイクルなべ帽子、なべ風呂敷、ペットボトル湯たんぽを作りました。湯たんぽは95℃のお湯を入れると翌朝でも60℃と一晩中温かいことを実験で確認しました。

ともに活動する村田さんと話しながら、推進員やJA女性部の皆さんと一緒に、講座やイベントを通してクールチョイスの普及・実践に取り組んでいます。

(岡田　妙子さん／脱温暖化ぬまくまフォーラム代表)

【ライフスタイル】(バイクビズ、風呂敷・水筒の利用)

自らの健康づくりを兼ねて、片道17.5㎞の自転車通勤を10年以上続けています。そのイメージが強いせいか、省エネ・省資源に強固に取り組んでいるように思われますが、「できることをできる範囲で」と、気負わず・無理なく取り組めることを行っています。

家にはたくさんの生き物がおり、家から出る野菜くずは生き物の餌にする、出かけるときには水筒を持っていく、風呂敷を多用するなどごみの減量にも力を入れています。

クールチョイスは、日々の暮らしの小さな選択の積み重ねです。その積み重ねが大きな力になることを信じ、皆さまに伝えることも私のクールチョイスです。

(住田　典子さん／一般財団法人広島県環境保健協会　地域支援課長)